2019 年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究・実践報告

■研究・実践の課題 (テーマ)

瀬戸保健所主催「食の安心安全タウンミーティング」共催

- ■主任研究者 岸本満
- ■共同研究者 なし
- ■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

目的:愛知県瀬戸保健所「食の安全・安心タウンミーティング」は、学生、一般市民、食品関係事業者及び愛知県瀬戸保健所が直接意見を交換することにより、食の安全に関する情報を共有し、関係者の理解を深めることを目的とした。

計画·方法:別紙1:実施計画

別紙2:開催案内

結果・考察:別紙3:タウンミーティング進行表

別紙 4: HP 掲載記事(開催報告)

別紙5:参加者アンケート結果

別紙1

平成31年度「食の安全・安心タウンミーティング」実施計画 (目的)

第1 「食の安全・安心タウンミーティング」(以下「タウンミーティング」という。)は、 管内の学生、市民、食品等事業者及び愛知県瀬戸保健所が直接意見を交換することにより、 食の安全・安心に関する情報を共有し、関係者の相互理解を深めることを目的とする。な お、愛知県瀬戸保健所は、食の安全・安心タウンミーティングで出された提言が食の安全・ 安心推進事業の施策に反映されるよう努めることとする。

(実施方法等)

- 第2 食の安全・安心タウンミーティングの実施方法等は、次のとおりとする。
 - 1 実施機関:愛知県瀬戸保健所
 - 2 共催機関:名古屋学芸大学 健康・栄養研究所
 - 3 日時:令和元年9月10日(火)午後2時から午後5時まで
 - 4 会場:名古屋学芸大学内教室 日進市岩崎町竹ノ山57番地
 - 5 参加対象者:学生、市民、食品等事業者(100名程度)
 - 6 参加者募集方法
 - (1) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市及び東郷町の広報に参加者募集記事を掲載する。
 - (2) 会場がある日進市を中心にポスター等で周知する。
 - (3) 名古屋学芸大学等の学生に周知する。
 - (4) 瀬戸保健所のホームページで周知する。
 - 7 実施方法
 - (1) 食中毒予防における手洗いの重要性及び食品関連事業者の手洗いに関する取組紹介
 - ア 「食中毒予防における手洗いの重要性について(仮)」
 - イ 「衛生用品メーカーの手洗いに関する取組紹介(仮)」
 - ウ 「仕出し弁当屋における手洗いに関する取組紹介(仮)」
 - (2) 意見交換会

学生、市民、食品等事業者及び保健所職員が参加して意見交換会を開催する。

(コーディネーター 名古屋学芸大学管理栄養学部教授 岸本 満 氏)

(事業評価)

- 第3 食の安全・安心タウンミーティング参加者に、次の事項を含んだアンケートを実施し、 事業評価を行う。
 - (1) 年龄、性別、職業
 - (2) 食の安全・安心タウンミーティングの開催をどのように知ったか
 - (3) 関係者の理解が深まったと思われる度合い

- (4) 参加して役立った、役立つと思われた事項
- (5) 今後、取り上げて欲しい内容
- (6) 行政(瀬戸保健所) に対する要望事項
- (7) その他

食の安全・安心タウンミーティング参加者募集 別紙 2

主催 愛知県瀬戸保健所 環境・食品安全課 共催 名古屋学芸大学 健康・栄養研究所

●開催日時 : 令和元年9月10日 (火) 午後2時から午後5時まで

: 名古屋学芸大学 5 号館 5 2 1 教室 ●開催場所

: テーマ「食中毒予防のコツ~たかが手洗い されど手洗い~」

(1)講演

①「食中毒予防における手洗いの重要性について」 講師:サラヤ株式会社バイオケミカル研究所 担当者

②「衛生用品メーカーの手洗いに関する取組紹介」 講師:サラヤ株式会社、株式会社ニイタカ、

花王プロフェッショナルサービス株式会社 担当者

③「老舗仕出し弁当屋の手洗いに関する取組紹介」

講師:株式会社八百彦本店 担当者

(2) 展示・体験コーナー 衛生用品メーカーや食品事業者等による手洗いに関する取組の紹介

(3) 意見交換会

●申込み方法:お電話で下記の内容をお伝えいただくか、下記を記載のうえ、ファクシミ リで送付ください。

 \sim . \sim .

- ●連絡先:瀬戸保健所 環境・食品安全課 食品指導グループ 電話 0561-82-2198 FAX 0561-82-9188
- ●申込締切り:令和元年8月30日(金)

瀬戸保健所 環境・食品安全課食品指導グループ行 (FAX 0561-82-9188)

食の安全・安心タウンミーティング参加申込み 月 日申込み

*所属(会社名、屋号など)	
*氏名	
*年齢	
*住所	連絡先電話番号
食品衛生関係で関心のあること	

^{*}必ずご記入ください。ご記入いただいた個人情報は、本夕ウンミーティング以外の目的に使用しません。

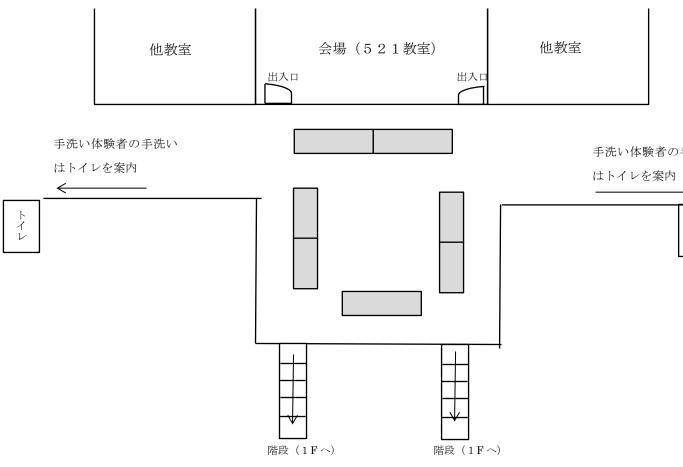
別紙 3 タウンミーティング進行表

日時:令和元年9月10日(火)14時から17時まで

場所:名古屋学芸大学5号館 521教室 (司会進行:三宅課長補佐)

3/1/11.	名占屋子云大子 5 方期		
時間	内 容		
14:00	あいさつ		
	1 瀬戸保健所環境・食品安全課 課長 水野 孝彦		
	2 名古屋学芸大学健康・栄養研究所長代理		
	名古屋学芸大学 管理栄養学部 環境衛生学研究室 教授 岸本 満		
14:10	講演①「食中毒予防における手洗いの重要性について」(仮題)		
	サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 次長 松村氏		
14:45	講演②「衛生用品メーカーの手洗いに関する取組紹介」(仮題)		
	サラヤ株式会社 中部支店 食品衛生サポート部 係長 浦瀬氏		
	⇒会社の概要及び手洗いに対する取り組みの紹介		
15:00	講演③「衛生用品メーカーの手洗いに関する取組紹介」(仮題)		
	株式会社ニイタカ		
	マーケティング部プロダクトマネジメント課 課長 石川氏		
	⇒会社の概要及び手洗いに対する取り組みの紹介		
15:15	講演④「衛生用品メーカーの手洗いに関する取組紹介」(仮題)		
	花王プロフェッショナルサービス株式会社		
	C&S 企画開発部業務推進グループ(兼)教育情報グループ		
	マネージャー 村田氏⇒会社の概要及び手洗いに対する取り組みの紹介		
15:30	〔休憩〕食品事業者等の展示・体験ブース		
	衛生用品メーカー、食品衛生協会や学生の手洗いに関する手洗い紹介(ブ		
	ース、パネル等)		
16:00	講演⑤「老舗仕出し弁当屋の手洗いに関する取組紹介」		
	株式会社 八百彦本店 代表取締役 社長 三浦氏		
	⇒会社の概要及び手洗いに対する取り組みの紹介		
16:40	〔休憩〕意見交換会の準備		
16:45	意見交換会		
	コーディネーター		
	名古屋学芸大学栄養科学研究科管理栄養学部 教授 岸本 満		
	パネラー 発表者5名		
	瀬戸保健所 環境・食品安全課		
17:00	終了		

食品事業者等の展示・体験ブース





各ブース (配置については未定)

① ブラックライト及び蛍光塗料を用いた手洗い実習

実施者:食品衛生協会瀬戸支部手洗いマイスター

② タオルの使いまわしによる二次汚染の実習

実施者:食品衛生協会豊明支部

衛生的手洗い方法の紹介 (愛知県手洗いキャラクター等の紹介)

実施者:瀬戸保健所

③ 学芸大学学生の手洗いソング等の取り組み紹介

実施者:名古屋学芸大学学生

④ 衛生メーカーの商品紹介

実施者: サラヤ(株)、(株) ニイタカ、花王プロフェッショ

ナルサービス (株)

⑤ 企業紹介

実施者:(株)八百彦本店

別紙 4 HP 掲載記事 (開催報告)

食の安全・安心タウンミーティングを開催しました

2019年9月10日(火)、名古屋学芸大学5号館521講義室にて「平成31年度 食の安全・安心タウンミーティング」(主催:愛知県瀬戸保健所 共催:名古屋学芸大学健康・栄養研究所)が開催され、本学学生、一般市民、食品等事業者 114名が参加しました。このタウンミーティングは、学生、市民、食品等事業者及び愛知県瀬戸保健所が直接意見を交換することにより、食の安全・安心に関する情報を共有し、関係者の相互理解を深めることを目的としています。

はじめに、サラヤ株式会社バイオケミカル研究所 松村玲子氏により、「食中毒における手洗いの重要性について」をテーマに講演が行われ、実験データに基づいて手洗いを科学的視点で解説、手洗いの重要性、必要性をご説明いただきました。

続いて、衛生用品メーカー各社の手洗いに関する取り組み紹介として、サラヤ株式会社中部支店食品衛生サポート部の浦瀬恵介氏により「プロフェッショナルのための手洗い〜実演を交えながら正しい手洗いを身につけよう〜」をテーマに講演、続いて株式会社ニイタカマーケティング部プロダクトマネジメント課の石川誠也氏により「手洗いによる微生物制御〜「剤」からのアプローチ〜」をテーマに講演が行われました。

花王プロフェッショナルサービス株式会社 C&S 企画開発部業務推進グループ兼教育情報グループの村田好史氏による「手指ケアの重要性」の講演も予定されていましたが、台風 15 号の影響で残念ながらご登壇いただけませんでした。

その後、参加者は協賛企業の「展示・体験ブース」で交流、体験を行いました。協賛企業、 団体は愛知県食品衛生協会瀬戸支部、愛知県食品衛生協会豊明支部、名古屋学芸大学、 株式会社八百彦本店、サラヤ株式会社、株式会社ニイタカ、花王プロフェッショナルサービス 株式会社の3団体、4企業でした。

次に、株式会社八百彦本店 三浦剛裕氏より、「老舗仕出し弁当屋の手洗いに対する取組紹介」を呈間に講演が行われました。手洗いをHACCPによる衛生管理のCCP(重要管理点)として設定し、従事者教育も徹底しされ、ISO22000 認証も取得されており、高度な衛生管理システムが構築されていることを理解することができました。

最後に、本学管理栄養学部 岸本 満教授(健康・栄養研究所 主任研究員)がコーディネーターを務め意見交換会を実施、活発なコミュニケーションが行われました。

別紙 5 令和元年度 食の安全・安心タウンミーティング アンケート結果 回答者 114名

内訳

年齢	20歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
人数	98	1	4	7	4

性別	男	女
人数	15	99

設問1 食の安全・安心タウンミーティング事業をどのようにしてお知りになりましたか。

学校からの情報	108人
知人からの情報	6人
市町の広報を見て	0人

設問2 今日のタウンミーティングに参加して、参加関係者間の相互理解が深まりましたか。

たいへん深まった	59人
ある程度深まった	46人
どちらともいえない	3人
まったく深まらなかった	0人
無回答	6人

設問3 今日のタウンミーティングの「展示・体験ブース」はいかがでしたか。

よかった	99人
どちらでもない	7人
よくなかった	0人
無回答	8人

設問4 タウンミーティングに参加して、役だったことがありますか。

• 自分の手洗いがどれだけできていないかがわかり、このタウンミーティングで学ん だ手洗い方法を実践したいと思った。

- 手洗いの重要性や正しい洗い方などの知識が深まった。
- 手洗いについて色々な面から学ぶことができた。
- ・PRP の基本(手洗いの意味と効果)、人の動かし方(教育・しつけ)を学べた。
- 手洗いの大切さがよくわかった。
- ・消毒の重要性がよくわかった。
- 洗うだけでなく、ふいて消毒までが手洗いということを知れた。
- 普段の手洗いから意識しようと思った。
- (株)八百彦の経営者の考え方が素晴らしく、大変参考になった。
- 現場の実際を知ることができた。
- 消毒剤の具体的な使用方法 (濡れた手にアルコールを使用してはいけない、指先から噴霧する など) を知ることができた。
- (ブラックライトを用いた手洗い実験をしてみて) 自身の手洗いや正しい手洗い方 法について知ることができた。
- 手洗いの意識付けが大切だとわかった。(従業員教育の重要性)

設問5 今後タウンミーティングで取り上げてほしいと思うテーマはありますか。

輸入食品の安全対策	36人
最近の食中毒事故の傾向	58人
その他※	6人
無回答	14人

※その他の内容

- 食品衛生 安全のための Codex 一般原則の実例
- ・ 食材の汚染度
- 食べかけ、飲みかけの食品などの危険性
- ・調理施設や器具の衛生管理について
- 福島と北関東の農作物の安全性について
- 服装
- ・添加物や有機野菜などについて

設問6 食品衛生行政に期待することは何ですか。

- 手洗い方法の統一化、飲食店におけるより細かい清掃方法の統一化
- 手洗いを含め、学校教育での衛生管理の重要性の発信
- ・幼稚園や小学校など小さいうちから手洗いの大切さを周知する。(その子供たちが 成長したときの意識が大きく変わると思う。)

- 手洗いの重要性や正しい手洗い方法を周知する。
- ・ 食中毒の減少
- ・ 食中毒の届け出方法の改善
- 知識の乏しい一般人への食品衛生に関する警告
- 行政の仕事が一般の人にあまり認知されていないと思うので周知があればよい。
- 衛生管理の重要性をさらに広めてほしい。
- 衛牛情報の発信
- 一般の人にも身近に感じるような活動をしてほしい。
- ・衛生を見えるようにしてほしい。
- わかりやすい指導
- 現場でいかせるマニュアルの作成
- ・食中毒予防のため、手洗いとともに厨房内や調理器具等の衛生にも力を入れて指導 してほしい。
- ・他地域との連携の強化
- ・現場と行政との相互理解と協力
- ・食品衛生のための設備の強化
- どのような細菌 ウィルスにも効果的な薬剤などの開発
- ノロウィルスをなくす
- ・食品の正しい保存方法を教えてほしい。
- 大手でない会社や工場への設備や従業員教育を整えること。

設問7 その他御意見があれば記入してください。

- ・(株)八百彦の講演が素晴らしく、またうらやましかった。5Sの基本が実践されていた。
- ・一度に多くの方を対象に手洗いの実習をするのはとても難しいと思った。
- タウンミーティングに毎年参加しているが、いつも気付きがあり参考になる。
- 「この水は飲めません」などと表示されている水を使って正しい手洗いをしても効果は同じなのか。また、水圧は手洗い効果に影響はあるのか。
- なかなか聞くことができない実際の企業で行われている衛生管理について知ることができて面白かった。
- 手洗いしないといけないことはわかっていても、全ての人が完ぺきにできるわけではないので、(従業員教育には)人の心理を考えることが大切だとわかった。
- とても参考になり、参加してよかった。
- 手洗いの後のアルコールが大切なことは理解できたが、体質的にアルコールを使えない人がアルコールの代わりに使えるものがあるのか知りたい。